

2023年7月号 国際交流員レポート  
蒋豪（中国）

## 人気の高まる「漢服」



ここ数年、「漢服」は若者を中心にじわじわと人気が高まりを見せています。特に今年は花見スポットや労働節（メーデー）連休の観光地などでの「漢服」出現率も格段に上がっているように思えます。今回はそんな「漢服」にスポットをあててみましょう。

日本人にとって中国の伝統的な民族衣装として、まず思い浮かべるのは旗袍（チャイナドレス）かもしれません。しかしチャイナドレスはもともとは満州貴族の衣装「旗装」から改良し、



チャイナドレス

1920年代頃から洋服の製法を吸収して定着した民族衣装です。

一方の「漢服」

は「漢民族伝統服飾」の略です。つまり、「漢民族が着ていた服＝漢服」ということになり、時代ごとにそのデザインが大きく異なります。

中国のショッピングサイト・淘宝（タオバオ）で漢服を検索してみると、かなりの数がヒットしました。販売数で上位を占めているのは1着2000～6000円がほどだが、ある程度マニアの域に達している人ならば、ほとんどが6000～20000円以上かけて購入しており、なかには60000円以上という人もいます。一方レンタルの場合は、北京で漢服レンタル+



撮影のセットで6000～12000円というセット料金が多かったのです。漢服を着る人が増えていることで、靴や髪飾りといった関連グッズも次第に増えてきています。

漢服を普段着として着るというコアなマニアもいますが、週末などに漢服を着て出かけたり、撮影やイベントに参加して定期的に漢服を楽しむというマニアがほとんどです。また近年増えているのが、旅行先で漢服をレンタルして撮影を楽しむライトユーザーです。

中国の花見スポットや観光地では、これまでもご当地民族衣装を着て記念撮影というのが、必ずと言っていいほどあったが、そのほとんどがその場でパチリと写真を撮って



終了というものでした。しかし現在は様々なネット人気スポットが登場し、SNSやショート動画アプリなど「自分を見せる」ツールもバラエティに富んでいることから、体験内容もますます深化しています。同時に、数年前から始まった学校教育における国学の重視や、国を挙げての伝統工芸や伝統文化の発揚もまた「漢服ブーム」を支える下地になっていると言えましょう。



★ 素材提供 写真：[duitangのライセンスに基づいて使用しています]

## 越来越受欢迎的“汉服”



近年来，“汉服”以年轻人为中心越来越受到欢迎。特别是今年在赏花点，劳动节期间在一些景点都会发现

“汉服”出现率特别高。让我们一起来看看“汉服”吧。

日本人印象里的中国传统服饰，首先想到的或许是旗袍吧。但是旗袍是由满族的贵族服饰“旗装”经改良，20世纪20年代又吸收西服的制法而形成的民族服饰。而“汉服”则是“汉民族传统服饰”的简称。也就是“汉民族所穿的衣服=汉服”，而且每个时代的汉服设计上都有很大不同。

在淘宝上一搜汉服，会出现一大堆，可见其大受欢迎。销量前列的大概一件100~300元左右，而汉服迷大多都会花个300~1000元，也有人会买3000元以上的。而租赁方面，北京有汉服租赁+摄影的套餐，价格大多是300~600元。

随着穿汉服的人越来越多了，鞋子、发饰等周边商品也越来越多了。



也有日常穿汉服的发烧友，不过大多爱好者都是一段时间穿一次，像是周末等穿着汉服出门，去拍照或是参加活动。近年来越来越多的是在景点租汉服拍照的轻度爱好者。

在赏花点和一些景点里，之前也

一直都有穿当地服饰拍照的，不过基本也就是拍完就放到一边了。现在有各种网红点，也可以

上传到社交媒体和短视频平台上，“展示自己”的渠道更丰富了，所以也可以体验更多的玩法。从几年前开始了学校教育中对国学的重视，还有

举国上下发扬传统工艺和传统文化，都是形成“汉服热”的基础吧。



旗袍